

## 成人看護学実習Ⅱ

### Clinical Practice in Adult Nursing 2

4単位(必修)3年

田村 綾子・教授/保健学科 看護学専攻 成人・高齢者看護学講座, 雄西 智恵美・教授/保健学科 看護学専攻 成人・高齢者看護学講座  
市原 多香子・准教授/保健学科 看護学専攻 成人・高齢者看護学講座, 南川 貴子・助教/保健学科 看護学専攻 成人・高齢者看護学講座  
桑村 由美・助教/保健学科 看護学専攻 成人・高齢者看護学講座, 今井 芳枝・助教/保健学科 看護学専攻 成人・高齢者看護学講座  
板東 孝枝・助教/保健学科 看護学専攻 成人・高齢者看護学講座

**【授業目的】**本実習では、健康障害のために入院治療中である生活の再構築あるいは再調整の必要な患者とその家族のもつ健康問題を解決することを通して、科学的でかつ論理的な問題解決能力を養う。さらに、実習体験を通して、批判的・創造的思考を深めるとともに、自己の看護観・倫理観・職業観を発展させることを目的とする。

**【授業概要】**成人看護学の理念や役割を体験を通して系統的に習得させるために、生活の再構築および再調整が必要な入院患者を1名ずつ受け持ち、ベッドサイドケアを中心に4週間実習を行う。さらに、患者指導の実際を栄養管理室で学ぶ。実習場所は、3病棟7階、3病棟8階、東病棟5階、東病棟8階、栄養管理室において実習を行う。\*実習内容の詳細については、後日、実習要項を配布し、ガイダンスを行います。

**【キーワード】**【キーワード】

**【先行科目】**『疾病論Ⅱ』(1.0), 『成人援助論Ⅰ』(1.0), 『成人援助論Ⅱ』(1.0)

**【関連科目】**【関連科目】

**【履修上の注意】**健康管理に注意して実習に臨むこと。特に冬季の風邪・インフルエンザ予防対策は十分に行うこと。

**【到達目標】**

1. 生活の再構築・再調整が必要な患者に対して適切な関わり・援助ができる。
  - 1) 身体・心理的側面に関して適切な評価方法を選択し、評価ができる
  - 2) 患者・家族の思いや体験を考えることができる
  - 3) 患者・家族の日常生活動作の拡大と自立への援助ができる
  - 4) 患者・家族の個別性を生かした生活支援ができる
  - 5) 継続して行う必要性のあるケア内容を明らかにできる
2. 患者一看護師関係を成立し発展させることができる。
3. 患者に適した看護過程を展開することができる。
4. 専門職業人として適切な(ふさわしい)姿勢・態度を養うことができる。
5. 看護専門職を目指すものとして倫理的な行動をとることができる。
6. 医療チームの一員として行動できる。
7. 基本的学習と学習の拡大努力をする。

**【授業計画】**

1. 第1週 / 病棟における生活再構築の必要な受け持ち患者の看護実践
2. 第2週 / 病棟における生活再構築の必要な受け持ち患者の看護実践
3. 第3週 / 病棟における生活再調整の必要な受け持ち患者の看護実践
4. 第4週 / 病棟における生活再調整の必要な受け持ち患者の看護実践

**【成績評価】**実習目標の達成状況、実習への参加度、自己学習状況、カンファレンスへの参加度、ケースレポートを総合して評価する。

**【教科書】**成人看護学概論, 成人対象論, 成人援助論, 成人疾病論, 高齢者疾病論で使用したものを活用。

**【参考書】**必要時、参考文献を紹介をする。

**【授業コンテンツ】** <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=217887>

**【連絡先】**

- ⇒ 田村 (088-633-9036, tamura@medsci.tokushima-u.ac.jp) MAIL (オフィスアワー: 金曜日:16:30~17:30 (研究室 保健学科3階))
- ⇒ 雄西 (088-633-9026, conishi@medsci.tokushima-u.ac.jp) MAIL (オフィスアワー: 木曜日:17:00以降 (研究室 保健学科3階))
- ⇒ 市原 (088-633-9038, ichihara@medsci.tokushima-u.ac.jp) MAIL (オフィスアワー: 月曜日:17:00~18:00 (研究室 保健学科3階))
- ⇒ 南川 (088-633-7644, minagawa@medsci.tokushima-u.ac.jp) MAIL (オフィスアワー: 火曜日:16:00から17:30(成人実習室 保健学科3階))
- ⇒ 桑村 (088-633-9046, kuwamura@medsci.tokushima-u.ac.jp) MAIL (オフィスアワー: 火曜日:16:00から17:30(成人実習室 保健学科3階))
- ⇒ 今井 (成人・高齢者看護学講座, 088-633-9046, imai@medsci.tokushima-u.ac.jp) MAIL (オフィスアワー: 8時~18時)
- ⇒ 板東 (088-633-7649, takae@medsci.tokushima-u.ac.jp) MAIL

## Clinical Practice in Adult Nursing 2

4 units (compulsory) 3rd-year

Ayako Tamura · PROFESSOR / ADULT AND GERONTOLOGICAL NURSING, MAJOR IN NURSING, SCHOOL OF HEALTH SCIENCES, Chiemi Onishi · PROFESSOR / ADULT AND GERONTOLOGICAL NURSING, MAJOR IN NURSING, SCHOOL OF HEALTH SCIENCES

Takako Ichihara · ASSOCIATE PROFESSOR / ADULT AND GERONTOLOGICAL NURSING, MAJOR IN NURSING, SCHOOL OF HEALTH SCIENCES, Takako Minagawa · ASSISTANT PROFESSOR / ADULT AND GERONTOLOGICAL NURSING, MAJOR IN NURSING, SCHOOL OF HEALTH SCIENCES

Yumi Kuwamura · ASSISTANT PROFESSOR / ADULT AND GERONTOLOGICAL NURSING, MAJOR IN NURSING, SCHOOL OF HEALTH SCIENCES, Yoshie Imai · ASSISTANT PROFESSOR / ADULT AND GERONTOLOGICAL NURSING, MAJOR IN NURSING, SCHOOL OF HEALTH SCIENCES

Takae Bando · ASSISTANT PROFESSOR / ADULT AND GERONTOLOGICAL NURSING, MAJOR IN NURSING, SCHOOL OF HEALTH SCIENCES

**Target)** 本実習では、健康障害のために入院治療中である生活の再構築あるいは再調整の必要な患者とその家族のもつ健康問題を解決することを通して、科学的でかつ論理的な問題解決能力を養う。さらに、実習体験を通して、批判的・創造的思考を深めるとともに、自己の看護観・倫理観・職業観を発展させることを目的とする。

**Outline)** 成人看護学の理念や役割を体験を通して系統的に習得させるために、生活の再構築および再調整が必要な入院患者を1名ずつ受け持ち、ベッドサイドケアを中心に4週間実習を行う。さらに、患者指導の実際を栄養管理室で学ぶ。実習場所は、3病棟7階、3病棟8階、東病棟5階、東病棟8階、栄養管理室において実習を行う。\*実習内容の詳細については、後日、実習要項を配布し、ガイダンスを行います。

**Keyword)** [キーワード]

**Fundamental Lecture)** “Diseases and DisordersII”(1.0), “Adult Nursing Care”(1.0), “Adult Nursing Care”(1.0)

**Relational Lecture)** [関連科目]

**Notice)** 健康管理に注意して実習に臨むこと。特に冬季の風邪・インフルエンザ予防対策は十分に行うこと。

**Goal)**

1. 生活の再構築・再調整が必要な患者に対して適切な関わり・援助ができる。
  - 1) 身体・心理的側面に関して適切な評価方法を選択し、評価ができる
  - 2) 患者・家族の思いや体験を考えることができる
  - 3) 患者・家族の日常生活動作の拡大と自立への援助ができる
  - 4) 患者・家族の個性を生かした生活支援ができる
  - 5) 継続して行う必要性のあるケア内容を明らかにできる
2. 患者－看護師関係を成立し発展させることができる。
3. 患者に適した看護過程を展開することができる。
4. 専門職業人として適切な(ふさわしい)姿勢・態度を養うことができる。
5. 看護専門職を目指すものとして倫理的な行動をとることができる。
6. 医療チームの一員として行動できる。
7. 基本的学習と学習の拡大努力をする。

**Schedule)**

1. 第1週 / 病棟における生活再構築の必要な受け持ち患者の看護実践
2. 第2週 / 病棟における生活再構築の必要な受け持ち患者の看護実践
3. 第3週 / 病棟における生活再調整の必要な受け持ち患者の看護実践
4. 第4週 / 病棟における生活再調整の必要な受け持ち患者の看護実践

**Evaluation Criteria)** 実習目標の達成状況、実習への参加度、自己学習状況、カンファレンスへの参加度、ケースレポートを総合して評価する。

**Textbook)** 成人看護学概論, 成人対象論, 成人援助論, 成人疾病論, 高齢者疾病論で使用したものを活用。

**Reference)** 必要時、参考文献を紹介をする。

**Contents)** <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=217887>

**Contact)**

- ⇒ Tamura (+81-88-633-9036, tamura@medsci.tokushima-u.ac.jp) MAIL (Office Hour: 金曜日:16:30~ 17:30 (研究室 保健学科3階))
- ⇒ Onishi (+81-88-633-9026, onishi@medsci.tokushima-u.ac.jp) MAIL (Office Hour: 木曜日:17:00以降 (研究室 保健学科3階))
- ⇒ Ichihara (+81-88-633-9038, ichihara@medsci.tokushima-u.ac.jp) MAIL (Office Hour: 月曜日:17:00~ 18:00 (研究室 保健学科3階))
- ⇒ Minagawa (+81-88-633-7644, minagawa@medsci.tokushima-u.ac.jp) MAIL (Office Hour: 火曜日:16:00から17:30(成人実習室 保健学科3階))
- ⇒ Kuwamura (+81-88-633-9046, kuwamura@medsci.tokushima-u.ac.jp) MAIL (Office Hour: 火曜日:16:00から17:30(成人実習室 保健学科3階))
- ⇒ Imai (成人・高齢者看護学講座, +81-88-633-9046, imai@medsci.tokushima-u.ac.jp) MAIL (Office Hour: 8時~ 18時)
- ⇒ Bando (+81-88-633-7649, takae@medsci.tokushima-u.ac.jp) MAIL